

# | 今月の不動産経済 (平成29年7月)

## ● 不動産業の動向

不動産業景気動向指数 (DI) <sup>*1</sup>	49.6 p	前月比 0.2 p ↗
-------------------------------	--------	----------------

不動産業の倒産状況 <sup>*1</sup>	17 件	前年同月比 △ 26.1 % ↘
負債総額 <sup>*1</sup>	4,592 百万円	△ 61.7 % ↘

## ● 新設住宅着工数

新設住宅着工・総数 <sup>*2</sup>	83,234 戸	前年同月比 △ 2.3 % ↘
持家	25,370 戸	△ 5.7 % ↘
貸家	36,365 戸	△ 3.7 % ↘
分譲	21,037 戸	5.7 % ↗
内マンション	9,059 戸	15.2 % ↗

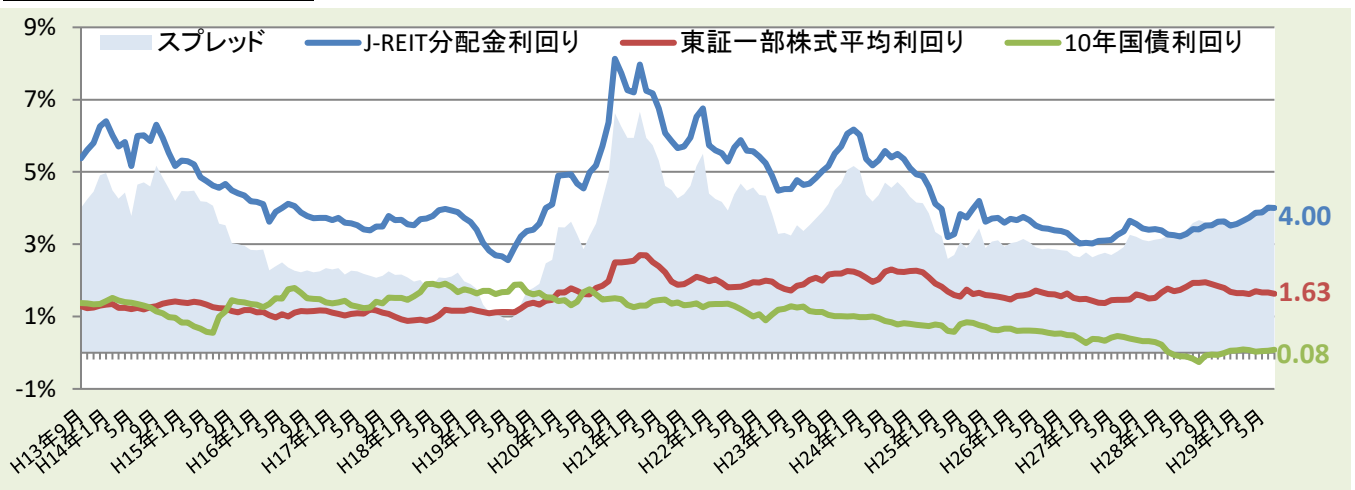
## ● マンション市場の動向

新築・供給戸数 (首都圏) <sup>*3</sup>	3,426 戸	前年同月比 3.3 % ↗
[契約率]	[71.9%]	8.6 p ↗
新築・供給戸数 (近畿圏) <sup>*3</sup>	1,832 戸	29.6 % ↗
[契約率]	[73.6%]	△ 1.0 p ↘
中古・成約件数 (首都圏) <sup>*4</sup>	3,325 戸	3.7 % ↗
平均価格	3,160 万円	5.4 % ↗
[㎡単価]	[49.5万円]	4.5 % ↗
中古・成約件数 (近畿圏) <sup>*4</sup>	1,452 戸	9.0 % ↗
平均価格	2,065 万円	3.5 % ↗
[㎡単価]	[30.2万円]	3.4 % ↗

## ● オフィス市場の動向

オフィス賃料 (都心5区) <sup>*6</sup>	18,916 円	前年同期比 (賃料) / 前月比 (空室率) 3.5 % ↗
オフィス空室率 (都心5区) <sup>*6</sup>	3.22 %	△ 0.04 p ↘

## ● J-REIT分配金利回り<sup>\*7</sup>



不動産業の業況感は前月比 0.2P改善し 49.6pとなった。景気判断の分かれ目の 50を2カ月連続で下回った。

新設住宅着工数は、2ヶ月ぶりに前年同月比減。

首都圏の新築マンション供給戸数は、前年同月比 3.3%増。3ヶ月ぶりに前年同月比増。契約率は、同 8.6pアップの 71.9%。

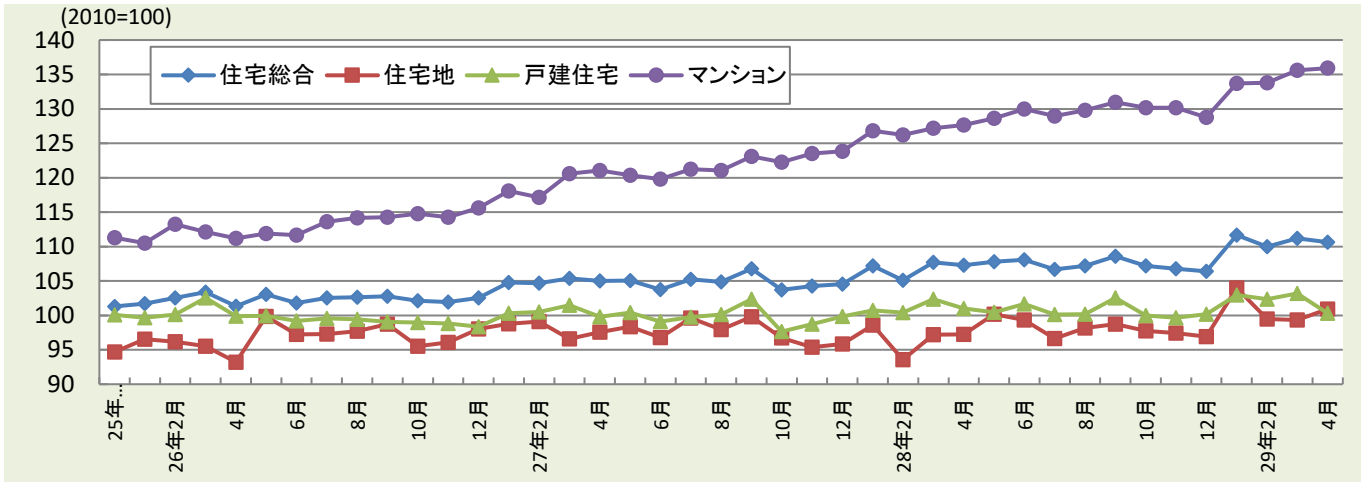
近畿圏の新築マンション供給戸数は、同 29.6%増。2ヶ月ぶりに前年同月比増。契約率は、同 1.0pダウンの 73.6%。

首都圏の中古マンション成約件数は2ヶ月連続で前年同月比増。

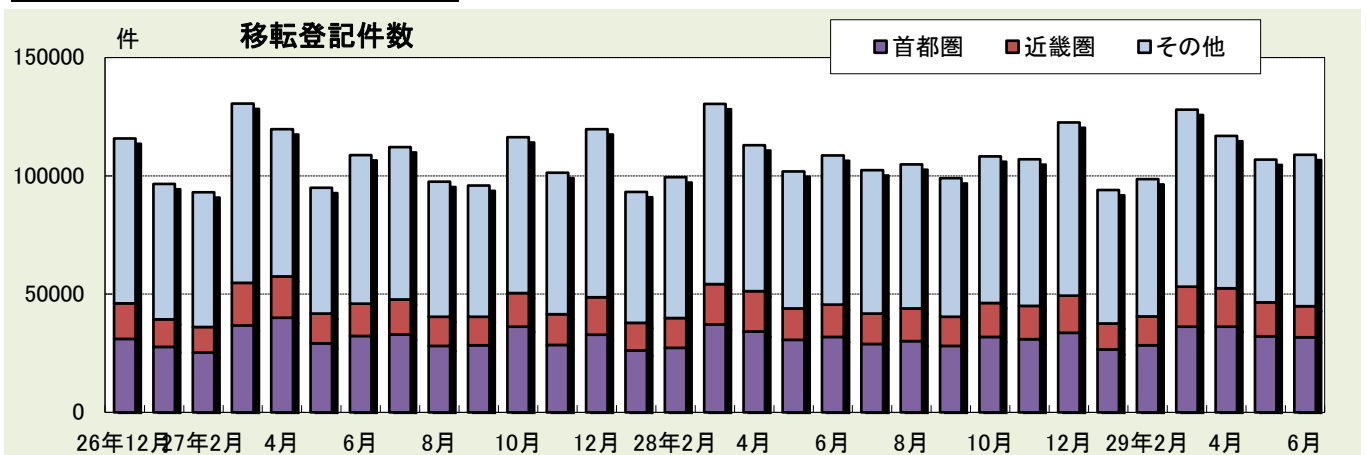
近畿圏は4ヶ月連続で前年同月比増。

都心5区のオフィス空室率は、2ヶ月連続で前月比低下。

● 不動産価格指数（中古住宅）<sup>\*2</sup>



● 売買による土地所有権移転状況<sup>\*8</sup>



\*1 帝国データバンク（DIは0～100、50が判断の分かれ目）

\*2 国土交通省

\*3 不動産経済研究所

\*4 不動産流通機構

\*5 アットホーム

\*6 三鬼商事

\*7 不動産証券化協会、東京証券取引所、財務省（スプレッド = J-RIET分配金利回り - 10年国債利回り）

\*8 法務省

[今月の不動産経済](#)

[時系列データ \(excel\) ダウンロード](#)